



# 瑞南小だより

第16号

令和6年12月25日

発行責任者 伊藤雅幸



## 令和6年を振り返って



令和6年も残すところ1週間となりました。

令和6年は、どのような年だったでしょうか。今年度は5年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、4月からコロナ禍前の学校生活を送ることができました。

それでも、マイコプラズマ肺炎やインフルエンザなど、コロナ禍には流行が見られなかった感染症が発生いたしました。

また、1月1日には能登半島地が発生し多くの被災者が出るなど、安全・安心な生活を送ることの難しさを感じさせられた一年でもありました。

幸いなことに、本校の児童は大きな事故や事件に遭うことなく、輝く笑顔で一年を過ごすことができました。

これも保護者や地域の皆様が、児童を温かく見守ってくださったおかげであります。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

令和7年が、皆様にとってよりよい年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続き本校に対しご厚情賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。



【4月】



【5月】



【6月】



【7月】



【8月】



【9月】



【10月】



【11月】



【12月】

## 感謝の会&ふれあい祭り

12月7日(土)、全市一斉の小学校土曜授業(オープンスクール)で、「感謝の会」と「ふれあい祭り」を実施しました。

「感謝の会」では、全校児童による歌や6年生のソーランの贈り物、また、お世話になった地域ボランティアの方々へお礼のメッセージを伝え、日頃の感謝の気持ちを表すことができました。

「ふれあい祭り」では、ボウリングや輪投げ等のゲームコーナー、プラ板作り、バザーなど、PTAの方々が趣向を凝らし、子どもも大人も楽しく過ごしました。また、フィナーレでは、参加者全員で校庭に集まり「瑞南音頭」を踊り「ふれあい祭り」を締め括りました。



## 人権週間

**「自分がされていやなことは、人にしない 言わない」**

本校では、12月9日(月)~13日(金)を「人権週間」とし、基本的人権を尊重する態度を育成し、差別を許さない態度の育成を図ってまいりました。

主な取組として、

日常の行動では、行動する前に善悪の判断をすることや、相手の立場に立って考えることを身に付けられるようにする。

あいさつでは、誰にでも自分からあいさつをする習慣を身に付けられるようにする。

友達の呼び方では、「さん」づけを徹底する。

友達への接し方では、誰にでも優しい気持ちで接することができるようにする。

また、朝の放送では「世界がひとつになるまで」を流したり、人権標語の代表作品を各クラスに掲示したりするなど、人権意識の高揚を図りました。

これからも、コミュニケーション能力を育て、互いに理解し合える関係を築けるよう指導してまいります。

